

検体部門

採血された血液や尿を調べるところです

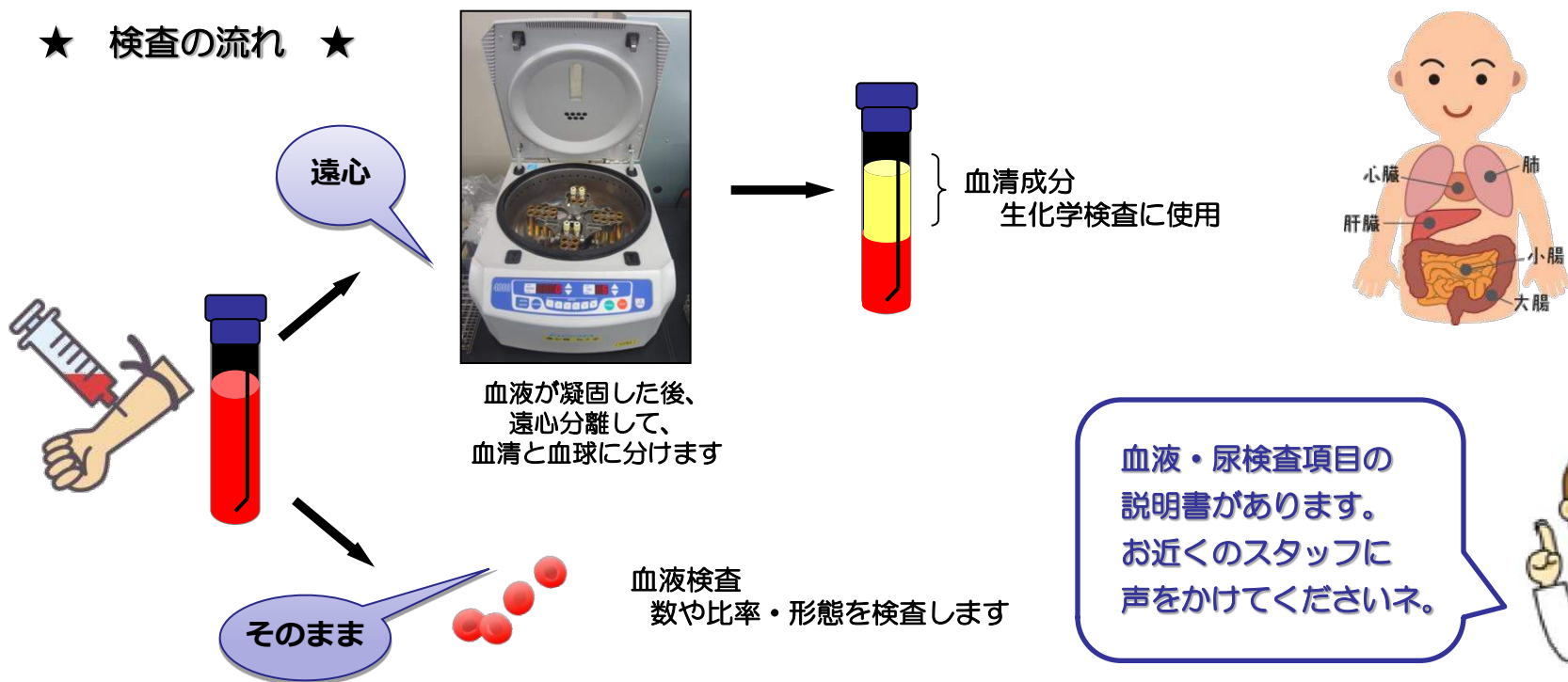
生化学検査

：採血された血液から血清や血漿を分離して、肝臓や腎臓の機能、脂質や血糖、蛋白質、炎症マーカーなどを測定し、様々な臓器の異常を調べたり、治療の効果判定に役立てています

血液検査

：赤血球や白血球などの成分の数や比率を検査し、異常がないか調べます

★ 検査の流れ ★



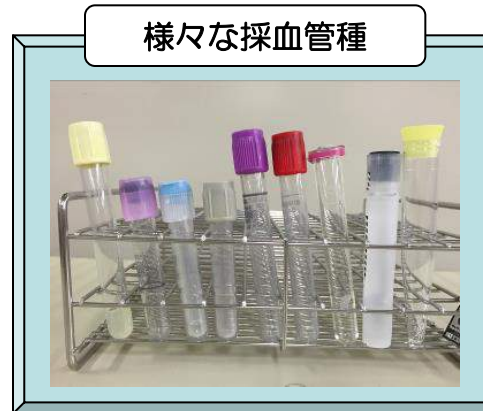
● 患者さんから提出された検体は、様々な分析機で検査されています

様々な自動分析装置を使い、検査されています。
装置が違くと、使用する採血管も異なる時があります。



血球算定・白血球分類・網状赤血球など

測定時間
10分程度



様々な採血管種

測定時間
30分程度



肝機能・腎機能・電解質・脂質検査など



凝固・線溶機能

20分程度

20～60分



感染症・腫瘍マーカー
甲状腺・各種ホルモン検査 など

10～20分



血糖・HbA1c

15～30分



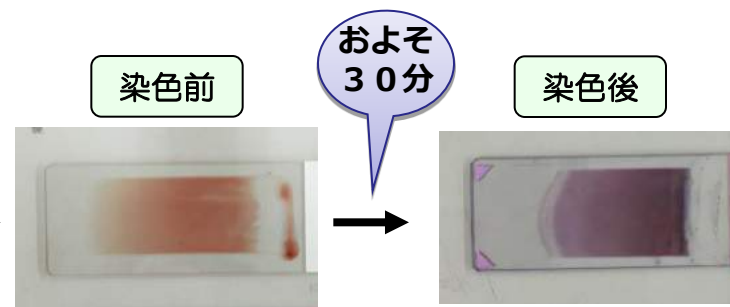
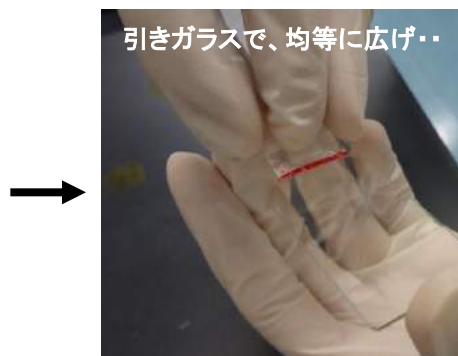
尿定性・尿沈渣

私たちは、
検査結果を迅速で正確に
報告することを
目標としています

●血液検査では・・・

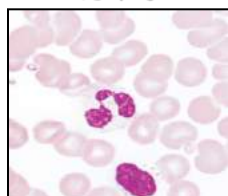
顕微鏡を用いて、血液中や骨髄中に含まれる細胞の検査を行っています。

★ 検査の流れ ★

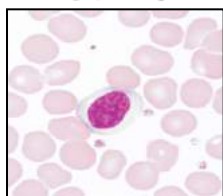


このような細胞が顕微鏡で見られます。

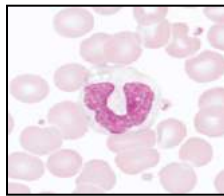
好中球



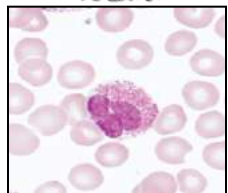
リンパ球



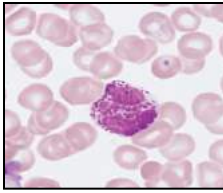
単球



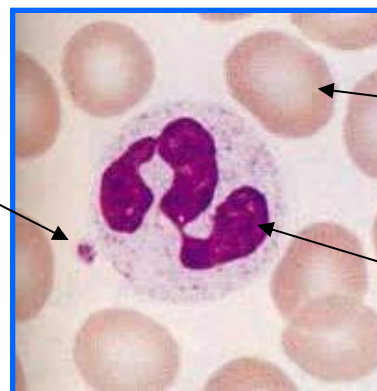
好酸球



好塩基球



血小板



赤血球

いろんな形が
見られますね

白血球

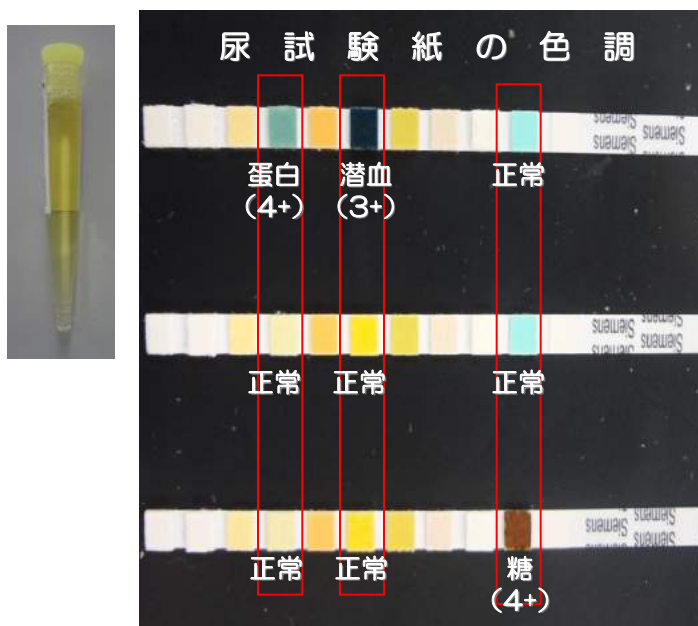


●一般検査では・・

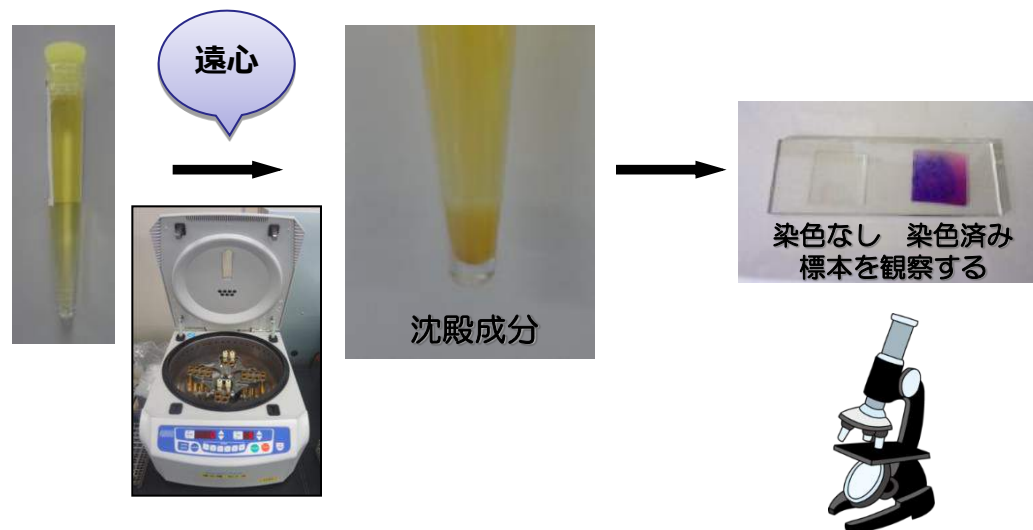
尿や便など体内の様々な材料を用いた検査を行っています。
機器による分析のほか、必要に応じて顕微鏡による検査も行います。

★ 検査の流れ ★

【尿定性検査】 尿試験紙の色調変化で判定



【尿沈渣】 尿中有形成分の分類



このような細胞が顕微鏡で見られます。

